

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2004-100983 (P2004-100983A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-013
 【出願番号】特願 2002-259854 (P2002-259854)
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 5 B 9/14

F 0 2 G 1/053

【F I】

F 2 5 B 9/14 5 2 0 A

F 2 5 B 9/14 5 1 0 B

F 0 2 G 1/053 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 11 日 (2005.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シリンダの内側を往復運動するピストンと、前記シリンダの内側において前記ピストンに対向し、前記ピストンの動きによって圧縮・膨張する作動媒体の働きにより駆動されるディスプレイサと、を備え、前記ピストンと前記ディスプレイサとの間に第 1 作動空間を、前記ディスプレイサから見て第 1 作動空間とは反対側に第 2 作動空間を、前記ピストンから見て第 1 作動空間とは反対側に背面空間を、有するように密閉して形成されたスターリング機関において、

前記ピストンに設けられ、第 1 作動空間とピストン外側面を結ぶ第 1 流路と、前記シリンダに設けられ、前記背面空間とシリンダ内側面を結ぶ第 2 流路と、を有し、第 1、第 2 流路を前記ピストンの初期の往復運動中心位置よりも前記背面空間側で連通させて成ることを特徴とするスターリング機関。

【請求項 2】

前記ピストンの外周面に設けられた第 1 流路の開口部は、前記ピストンの往復運動方向に複数形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のスターリング機関。

【請求項 3】

前記シリンダの内周面に設けられた第 2 流路の開口部は、前記ピストンの往復運動方向に複数形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のスターリング機関。